

宮崎牛

<http://miyazaki.lin.go.jp/> 2003年9月号 No.36



自信があるから、名前があります。

より良き宮崎牛づくり対策協議会の宮崎牛イメージキャラクターができました。

グランド
チャンピオン



第101回銘柄共進会表彰風景(グランドチャンピオン 日南市 安楽重光さん(写真右))
本紙3P



現役3世代頑張る 福森家畜人工授精所
(左:淳さん 中央:輝明さん 右:和哉さん)本紙2P

2003年9月号 目次

● トピックス	輝く21世紀の若人たち	from.家畜登録協会	2
	現役3世代頑張る 福森家畜人工授精所	from.事業団	2
● 枝肉成績	宮崎県が4年連続団体優秀賞受賞 ~第27回九州管内系統和牛枝肉共励会結果~	from.経済連	2
	第101回宮崎銘柄牛枝肉共進会成績	from.経済連	3
	和牛枝肉成績(JA宮崎経済連取り扱い)	from.経済連	3
● トレーサビリティ	畜産農家のみなさんへ	from.県畜産課	4
● BSE関連事業実績について	子牛生産拡大奨励事業(BSE特別対策)等について	from.子牛基金協会	5
	肉用牛肥育経営安定対策事業に係る交付実績等について	from.畜産会	5
● 種雄牛情報	~福晴美号・上茂福号~	from.家畜改良事業団	7
● 飼養管理情報	家畜の暑熱対策について	from.経済連	8
● 今後の行事予定	(登録検査日程・子牛セリ日程)	from.家畜登録協会	8

表題の変更について 「世界に翔く宮崎牛」は創刊以来10年目を迎えました。これを機会に皆様により親しまれ愛される情報誌を目指して「宮崎牛」に変更しました。今後とも一層内容の充実に努めてまいりますのでご理解下さるようお願いいたします。

情報誌「宮崎牛」発行協賛団体

●宮崎県経済農業協同組合連合会 ●宮崎県肉用子牛価格安定基金協会 ●宮崎県家畜改良事業団 ●宮崎県家畜登録協会 ●宮崎県畜産会

輝く21世紀の若人たち

第54回宮崎県学校農業クラブ連盟大会家畜審査競技会が児湯地域家畜市場において、6月19日に開催されました。

未来に豊かな風を送ってくれる頼もしい生徒が県内5つの農業高校から一同に集い、ホルスタイン種の部に43名、黒毛和種の部に62名が出場し、これまで培ってきた審査技術の成果を披露されました。

審査競技に出場した生徒の皆さんは、関係者や生徒の皆さんの熱い視線を浴びながら緊張した面持ちで審査に取り組みました。

黒毛和種（4頭）の審査競技においては、競技に出場した生徒各位が理想とする種牛の体型を脳裏に浮かべつつ、相対的な序列評価と部位ごとの優劣の序列評価をおこないました。競技の結果、黒毛和種の部では高原高校2年の立山徹志さんが最高位に輝きました。



本審査競技会の関係者の一人として、牛を審査する生徒の皆さんの勇姿に感動を覚えるとともに、今後、生徒一人一人がいろいろな角度から物事をみつめ、対処する力を磨いてほしいと、たゆまない研鑽にエールを送りつつ、農業後継者として地域そして日本を支えるリーダーとして活躍してくれることを熱望しました。

現役3世代頑張る 福森家畜人工授精所

北諸県郡市管内の人工授精所は後継者に悩む畜産業界を尻目に後継者の多い地域である。中でも、都城市高木町の福森家畜人工授精所は、3世代続く授精所で、しかも現役である。初代 淳さん（75歳）は、戦後種雄牛をけい養し自然交配を行ってきたが、人工授精技術の発展とともに昭和28年に人工授精所を開業した。県内、液状精液から凍結精液にかわるなど目まぐるしい環境の中で多くの授精師の仲間と辛苦をかさね今の北諸県郡市家畜人工授精師協会の基礎を築かれた一人でもある。

四男である2代目輝明さん（46歳）は、昭和52年に就業し生産農家とのコミュニケーションを大切にしながら農家所得向上と受胎率向上を目標に情報収集、技術研鑽に努力されている。孫にあたる3代目和哉さん（20歳）は、今年就業したばかりである。2人の先代は、その成長を楽しみにしている。

宮崎県が4年連続
団体優秀賞受賞

第27回九州管内系統和牛枝肉共励会結果

9月1～6日、福岡県太宰府市
JA全農九州畜産センター

各県連平均値				県名	屠体重 (kg)	枝重 (kg)	BMS	得点	単価 (円)	販売額 (千円)	入賞		
				宮崎県	702	447.6	7	76.0	3,227	1,444	団体賞		
				佐賀県	746	490.3	8	75.5	3,258	1,597	努力賞		
				鹿児島県	744	479.1	7	75.0	3,301	1,582			
				長崎県	758	485.2	6	68.5	2,549	1,237			
				熊本県	717	462.4	6	66.0	2,560	1,184			
				福岡県	743	476.0	5	61.5	2,130	1,013			
				大分県	741	471.7	5	58.5	2,295	1,082			
				沖縄県	720	468.1	5	58.5	2,184	1,022			
農協名 (出荷番号順)	農家名	生年月日	月齢	父	母の父	母の母の父	屠体重 (kg)	枝重 (kg)	BMS	等級	単価 (円)	販売額 (千円)	入賞
こばやし	岩下盛明	H13.4.17	28.4	安平	隆桜	谷茂	691	449.1	7	A4	3,010	1,352	
こばやし	岩下盛明	H13.3.3	29.9	上福	福桜	糸秀	709	438.9	10	A5	5,000	2,195	銅賞3席
都城	乙守一夫	H13.4.22	28.3	福桜	糸秀	忠福	716	461.2	8	A5	3,210	1,480	
都城	平川洋志	H13.4.11	28.6	上福	平翔	隆桜	645	402.0	6	A4	2,800	1,126	
都城	清水裕一郎	H13.5.1	28.0	安平	隆桜	神高福	718	461.7	8	A5	3,210	1,482	
はまゆう	古澤良広	H13.3.31	29.0	安平	福桜	菊安	736	466.5	9	A5	4,100	1,913	
はまゆう	安楽重光	H13.3.1	30.0	安平	誠隆	安福	693	454.9	6	A4	2,810	1,278	
はまゆう	安楽秀光	H13.3.5	29.8	福桜	安平	隆桜	668	431.6	8	A5	3,010	1,299	
はまゆう	武田進一	H13.3.3	29.9	安平	隆桜	菊安	660	422.9	6	A4	2,800	1,184	
高千穂地区	甲斐健一	H13.5.13	27.6	安平	祖母錦	糸秀	706	453.9	7	A4	2,810	1,275	
尾鈴	黒木生子	H13.4.27	28.1	福桜	安平	隆桜	693	441.8	6	A4	2,810	1,241	
尾鈴	黒木 誠	H13.4.16	28.5	糸秀	安平	隆桜	723	449.1	6	A4	2,740	1,231	
尾鈴	岩崎勝也	H13.4.5	28.8	隆桜	糸秀	茂金	713	463.6	5	A4	2,500	1,159	
児湯	永友成勉	H13.3.7	29.8	安平	隆桜	長久	759	478.2	6	A4	3,100	1,482	
西都	黒木輝也	H13.3.28	29.1	隆桜	安平	奥高	761	477.7	8	A5	3,210	1,533	
綾町	沢田幸夫	H13.3.9	29.7	安平	上福	隆美	674	436.9	9	A5	4,340	1,896	銅賞4席
綾町	沢田幸夫	H13.4.20	28.3	茂福	福桜	糸秀	662	420.0	8	A5	3,400	1,428	

第101回宮崎銘柄牛枝肉共進会成績

入賞	農協名	出荷者名	性別	血統			導入体重(kg)	導入価格(千円)	肥育日数(日)	と前体重(kg)	枝肉重量	歩留等級			BMS	等級	単価(円)	販売金額(千円)
				父	母の父	母の母の父						ロース芯(cm2)	バラ厚(mm)	皮下脂肪(mm)				
1	はまゆう	安楽重光	去	安平	上福	隆美	312	367	670	729	459.8	73	97	25	12	A5	6,000	2,759
2	こばやし	菌田 誠	去	安平	隆桜	福茂	349	440	702	778	501.1	77	90	23	11	A5	5,050	2,531
3	児湯	岩本譲二	去	安平	糸秀	糸弘2	259	393	575	693	439.0	69	79	17	10	A5	4,110	1,804
4	尾鈴	吉川信夫	去	隆桜	安平	糸秀	247	384	638	643	417.6	65	87	33	9	A5	3,840	1,604
5	西都	黒木輝也	去	福桜	安平	糸弘2	286	460	698	771	501.5	73	87	32	9	A5	3,130	1,570
6	尾鈴	岩崎勝也	去	隆桜	上福	福桜	285	376	636	691	457.9	68	86	28	9	A5	3,420	1,566
7	都城	葉師憲一	去	安平	福桜	糸秀	286	459	644	731	483.6	57	86	37	8	A5	3,600	1,741
第101回(102頭)の平均値							282	364	623	713	458.4	62	82	29	5.9		2,555	1,169
標準偏差							30	67	45	48	33.7	6.8	7.0	7.0	1.7		593.8	278
最大値							360	499	770	872	551.0	77	101	48	12		6,000	2,759
最小値							197	200	524	607	382.2	44	63	16	3		1,770	783
第100回(平成15年2月開催)の平均値										704	450.1	60	81	28	5.8		3,054	1,381
第99回(平成14年6月開催)の平均値										708	456.7	61	81	29	6.4		2,209	1,009

第101回宮崎銘柄牛枝肉共進会を平成15年6月26日、(株)ミヤチク高崎工場で開催しました。

共進会には県内12JAより選抜された102頭が出品され、JAはまゆう肥育牛部会の安楽重光さんがグラウンドチャンピオンに輝き、その後のセリで1キロ当たり6,000円(275万9千円)と高値取引されました。

今回の102頭平均値と第100回の平均値を比較すると重量が大きく、ロース芯面積も大きく、バラの厚さも厚くなっており、宮崎牛の特徴である質量兼備が示されていました。

JA宮崎経済連取扱 和牛枝肉成績 (平成14年1月~12月)

形質名	単位	去勢			雌		
		件数	平均値	標準偏差	件数	平均値	標準偏差
導入体重	kg	6,807	293.2	98.3	4,272	271.8	103.2
導入価格	千円	3,222	384.6	65.8	2,093	312.2	68.1
肥育日数	日	10,825	616.0	341.1	7,283	640.0	401.8
と前体重	kg	10,825	657.5	110.0	7,283	577.9	110.7
1日増体重	kg	10,825	0.63	0.20	7,283	0.54	0.19
枝肉重量	kg	18,014	430.0	48.8	10,148	379.5	47.1
ロース芯面積	cm ²	10,825	54.4	7.8	7,283	51.1	13.1
バラ厚	mm	10,825	76.6	9.3	7,283	71.7	10.4
皮下脂肪厚	mm	10,825	26.1	7.2	7,283	28.0	7.9
推定歩留	%	10,825	73.9	1.4	7,283	73.4	4.3
BMS No.		10,825	5.2	1.8	7,283	4.5	1.7
枝肉単価	円	18,014	1,476	486	10,148	1325	479
5等級率		2,141	(取扱い全体の11.9%)		774	(取扱い全体の7.6%)	
上物率		9,797	(取扱い全体の54.4%)		4,080	(取扱い全体の40.2%)	

※枝肉重量、枝肉単価、5等級率および上物率は県外出荷分を含みます。

肥育日数は昨年に比べ去勢・雌共に約15日延びていますが、これはBSE発生での出荷遅延によるものであると思われます。しかしながら、枝肉重量は去勢で1kg、雌で5kg軽く、一日増体量も同様の結果でした。

また、BMS No.については、去勢で0.1改善されていますが、雌では0.2減少した結果が示されました。

一方、5等級率については、去勢・雌共に0.5~0.1ポイント減少していますが、上物率(4等級以上率)は去勢・雌共に1~3ポイント向上していました。

訂正とお詫び

前回35号にて掲載致しました「第100回宮崎銘柄牛枝肉共進会を開催」の上位入賞した出荷者氏名において、誤りがございましたので下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

記 (誤)「古川信夫」さん → (正)「吉川信夫」さん

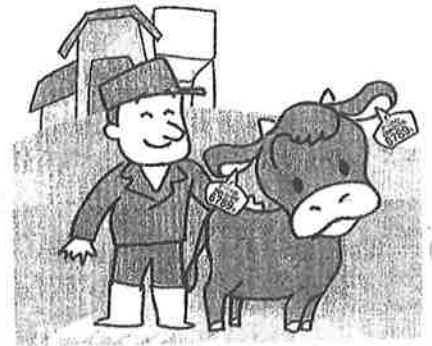
畜産農家のみなさんへ

- I 牛への耳標装着や各種届け出が法律によって義務づけられています。
さらに平成15年12月1日からは
耳標を付けなかったり、届け出をしなかったり、虚偽の届け出をすると法律により罰則があります。

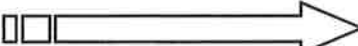

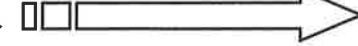

法律名:牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法



牛肉トレーサビリティ法



次の場合に、届け出が必要です

- ・牛の子が生まれた □□  出生報告
- ・牛をセリに出荷、売却、と場出荷 □□  異動報告 (転出)
- ・牛の購入または導入 □□  異動報告 (転入)
- ・牛が死亡した □□  異動報告 (死亡)



※和牛繁殖農家で子牛基金に加入している人はJAから届出がされますので、牛が産まれたり、売却、導入した場合はすぐにJAへ報告してください。

- II 今年12月1日にあなたの牛舎にいる牛を再確認する必要があります。
農家にいる牛を11月から12月にかけて、市町村、JA、国、県の担当者が確認しますのでご協力をお願いします。この再確認がされないと、あなたの牛が存在しないこととなりますのでご注意ください。

詳しくは、次のところへお問い合わせ下さい。

九州農政局	宮崎農政事務所	安全管理課 (宮崎市)	(0985)22-3181
	地域第1課	消費・安全担当 (都城市)	(0986)23-3966
	地域第2課	消費・安全担当 (延岡市)	(0982)35-7311
宮崎県農政水産部	畜産課		(0985)26-7141

子牛生産拡大奨励事業（BSE特別対策）等について

平成13年9月に確認されたBSEの対策として、補給金をはじめ、子牛生産拡大奨励事業（BSE特別措置）等の各種の緊急対策事業が実施された。

子牛価格の急激な下落から各事業が発動となり、生産者及び家畜市場に対し、国、県の助成金が、総額2,532,980,350円交付され、懸念されていた子牛価格の低落は最小限に食い止められる結果となった。

子牛生産拡大奨励事業

(平成14年度)

【BSE特別措置】

褐色和種	対象頭数:	1頭	交付金額:	25,000円
黒毛和種	対象頭数:	39,079頭	交付金額:	1,213,072,000円
		39,080頭		1,213,097,000円

県単独BSE対策事業

区分	品種	対象頭数	助成金単価	交付金額
繁殖雌牛保留助成	黒毛	1,730	50,000円	86,500,000円
子牛価格安定	黒毛	26,563	7,886円	209,480,000円
肥育基牛助成	黒毛	8,459	15,000円	126,885,000円
	乳・F1	9,664	4,000円	38,656,000円
	小計	18,123	—	165,541,000円
			合計	461,521,000円

肉用牛肥育経営安定対策事業に係る交付実績等について

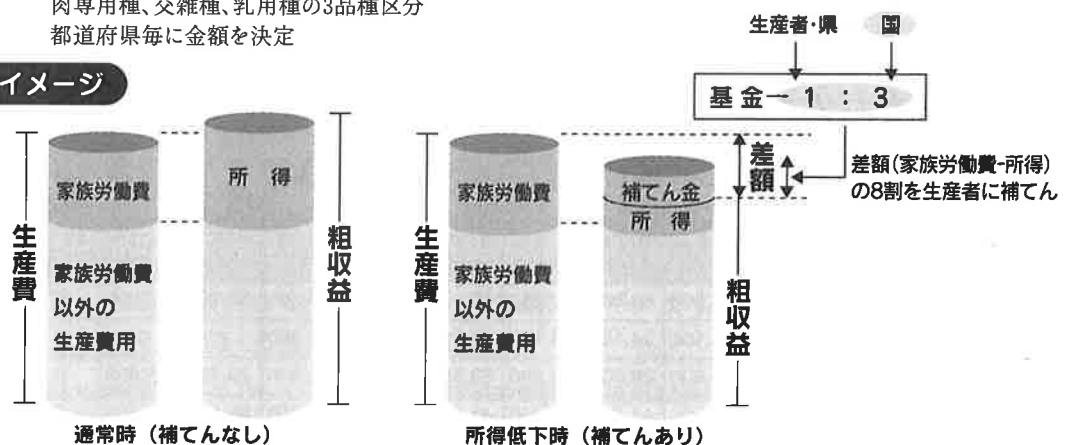
事業の目的

肉用牛肥育経営においては、素牛の導入から肥育牛として出荷するまでに一定の期間を必要とし、生産費に占める素畜の導入費用の割合が大きいことから、素畜価格と販売価格等の動向によっては経営収支の悪化が懸念されます。このような場合に中央畜産会と県の助成及び肥育牛生産者の積立金をもって造成した基金から、所得の減少に応じて補てんを行い、経営安定を図る。

事業の内容

- (1) 拠出割合 生産者・県 : 国 = 1 : 3
- (2) 事業実施期間(第1期) 平成13年～15年度(3年間)
- (3) 発動基準 地域の直近3か年の平均家族労働費
- (4) 補てん割合 発動基準と四半期推定所得の差額分の8割
- (5) 対象品種 肉専用種、交雑種、乳用種の3品種区分
- (6) 生産者積立 都道府県毎に金額を決定

基金並びに補てんイメージ



肉用牛肥育経営安定対策事業は、BSE発生の影響を直接受けた肥育農家の危機回避の中心的役割を担い、補てん農家戸数567戸、登録頭数178,568頭(13年4月～15年3月)、平成15年3月までの販売牛の補てん金交付額は総額3,837,167,500円となり、肉用牛肥育経営の安定に大きく寄与することができました。

肉用牛肥育経営安定対策事業の年次別補てん金交付状況

(単位:頭、円)

区分	13年4月～12月		14年1月～12月		15年1月～3月		合計	
	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
肉専用種	21,007	1,201,706,800	30,789	1,697,562,000	0	0	51,796	2,899,268,800
交雑種	2,395	81,669,500	12,697	372,318,700	827	14,389,800	15,919	468,378,000
乳用種	4,551	75,780,200	10,161	284,626,300	3,080	87,164,000	17,792	447,570,500
一産取り	283	11,400,100	262	10,550,100	0	0	545	21,950,200
合計	28,236	1,370,556,600	53,909	2,365,057,100	3,907	101,553,800	86,052	3,837,167,500

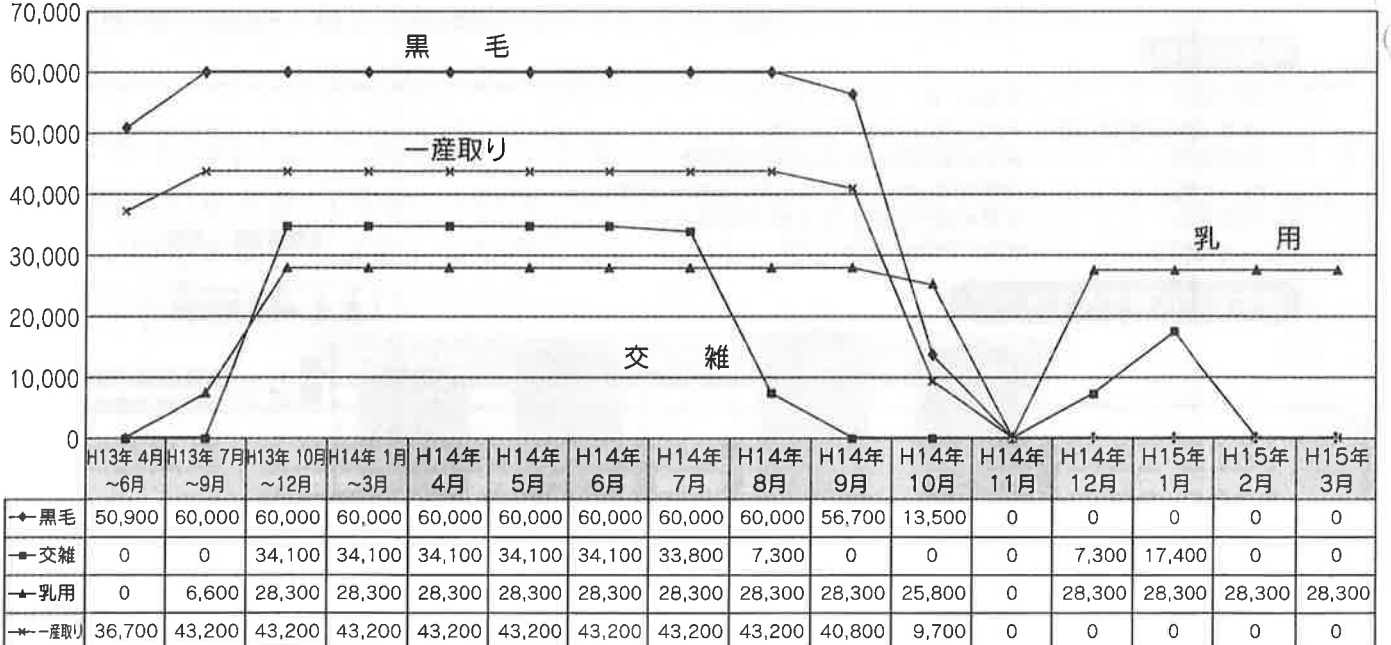
最高補てん金額並びに積立金の内訳

(単位:円/頭)

区分	基準家族労働費	最高補てん金額	生産者積立金	県費	(社)中央畜産会
肉専用種	75,000	60,000	13,500	1,500	45,000
交雑種	43,663	34,100	7,500	1,000	25,500
乳用種	35,380	28,300	6,000	1,000	21,000
一産取り	54,000	43,200	9,300	1,500	32,400
負担割合	-	-	1/4		3/4

補てん金発動単価の推移

(補てん金額)



種雄牛情報

ふく はる み
福晴美号

黒原 3631
得点 82.5



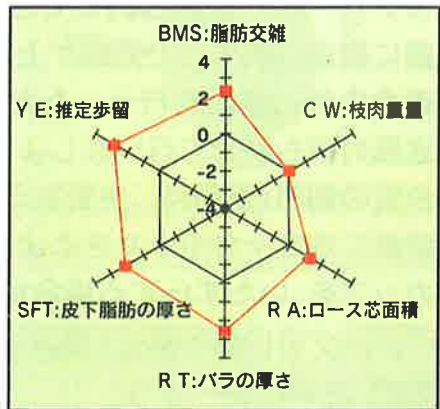
父系3代「気高系」種雄牛の誕生
産肉性が抜群
兵庫系母牛への交配や繁殖性も魅力

生年月日:平成9年10月2日
産地:南那珂郡 南郷町
生産者:池田 久美

測尺数値 平成15年8月現在

体高 147.2cm
体長 172.8cm
胸囲 209.0cm
体重 676.0kg

推定育種価の比較



現在繁殖雌牛の推定育種価の平均値を0として標準偏差単位で標記
資料提供:宮崎県肉用牛産肉能力情報活用協議会

血統

福茂	第20平茂 黒育 134	気高 黒育 9
黒高 921	ひろみ	第13ひらしげ 黒高 16819
得点 82.1	黒高 83617	美福10 黒育 34
はるみ	賢治	さかえ 黒高 49251
黒原 617511	黒高 904	賢晴 黒育 40
得点 81.7	まさいち	なみこ 黒育 1310
	黒原 525958	隆美 黒育 161
		第1はつこ 黒原 199293

かみ しげ ふく
上茂福号

黒原 3688
得点 83.8



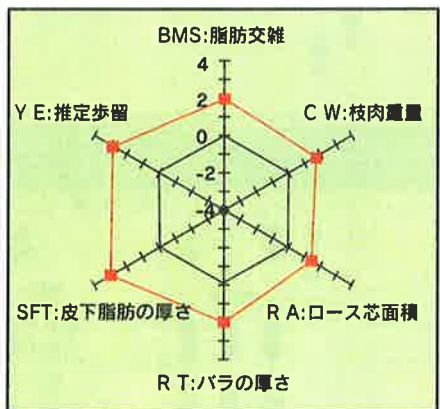
肉質、肉量の実力派
父「上福」を越えた抜群の安定度と
バランスのとれた改良は魅力

生年月日:平成9年12月13日
産地:都城市
生産者:井之上 美智子

測尺数値 平成15年8月現在

体高 153.6cm
体長 181.8cm
胸囲 226.0cm
体重 846.0kg

推定育種価の比較



現在繁殖雌牛の推定育種価の平均値を0として標準偏差単位で標記
資料提供:宮崎県肉用牛産肉能力情報活用協議会

血統

上福	谷福土井	安谷土井 黒育 85
黒原 2648	黒高 950	きくつる 黒高 29920
得点 82.0	ゆきひめ6	菊照土井 黒育 100
	黒高 131473	おおみぞ 黒育 11145
ともこ	第20平茂	気高 黒育 9
黒原 815028	黒育 134	第13ひらしげ 黒高 16819
得点 81.0	はるひめ8	志福 黒育 129
	黒高 123572	はるひめ3の2 黒原 48593

暑熱による、家畜への被害を防止するため、以下のことを注意してください。

＜牛舎環境＞

- ①畜舎の窓や戸を開放するなどして、換気・通気に注意しましょう。
- ②換気扇、扇風機、ポリダクト等の送風器具等を利用して、家畜の体感温度を下げましょう。

送風方法としては

ア) 牛体に直接送風し、体感気温を下げる方法。

イ) 畜舎の換気を促す送風を行い、畜舎内の気温を下げる方法。

※ア)、イ) が総合的にできる換気が理想ですが、気温の上昇が激しい場合は、家畜に直接送風すると効果が上がります。

- ③畜舎内外に散水を行う。ただし畜舎内に散水する場合は、湿気がこもらないように送風対策も併せて行いましょう。
- ④良質の飼料(粗飼料)、主要なミネラルを与え、健康な状態を維持させましょう。
- ⑤新鮮な水を十分引水できるようにしましょう。ただし家畜がウォーターカップを、いたずらする場合がありますので注意してください。
- ⑥パドック等には日除けを設けましょう。
- ⑦密飼いを避けましょう。
- ⑧行動を良く観察し、異常畜の早期発見と早期治療に努めましょう。
- ⑨採食量が低下した場合は、夜間や早朝等気温の低い時間に飼料給与を行いましょう。



残暑がきびしいね!

今後の行事予定

		登録日		子牛セリ市開催日		青の文字:黒毛和種雌牛登録検査日程	
10月	1	水					
	2	木					
	3	金					
	4	土					
	5	日					
	6	月					
	7	火					
	8	水					
	9	木					
	10	金					
	11	土					
	12	日					
	13	月					
	14	火					
	15	水					
	16	木					
	17	金					
	18	土					
	19	日					
	20	月					
	21	火					
	22	水					
	23	木					
	24	金					
	25	土					
	26	日					
	27	月					
	28	火					
	29	水					
	30	木					
	31	金					
11月	1	土					
	2	日					
	3	月					
	4	火					
	5	水					
	6	木					
	7	金					
	8	土					
	9	日					
	10	月					
	11	火					
	12	水					
	13	木					
	14	金					
	15	土					
	16	日					
	17	月					
	18	火					
	19	水					
	20	木					
	21	金					
	22	土					
	23	日					
	24	月					
	25	火					
	26	水					
	27	木					
	28	金					
	29	土					
	30	日					



第52回県畜産共進会は、種畜部門10月3～4日南那珂地域家畜市場で、枝肉部門10月21～23日(株)ミヤチク高崎工場で開催します。

肉用牛農家のみなさんへ

【家畜排せつ物法】の猶予期限が迫りました！

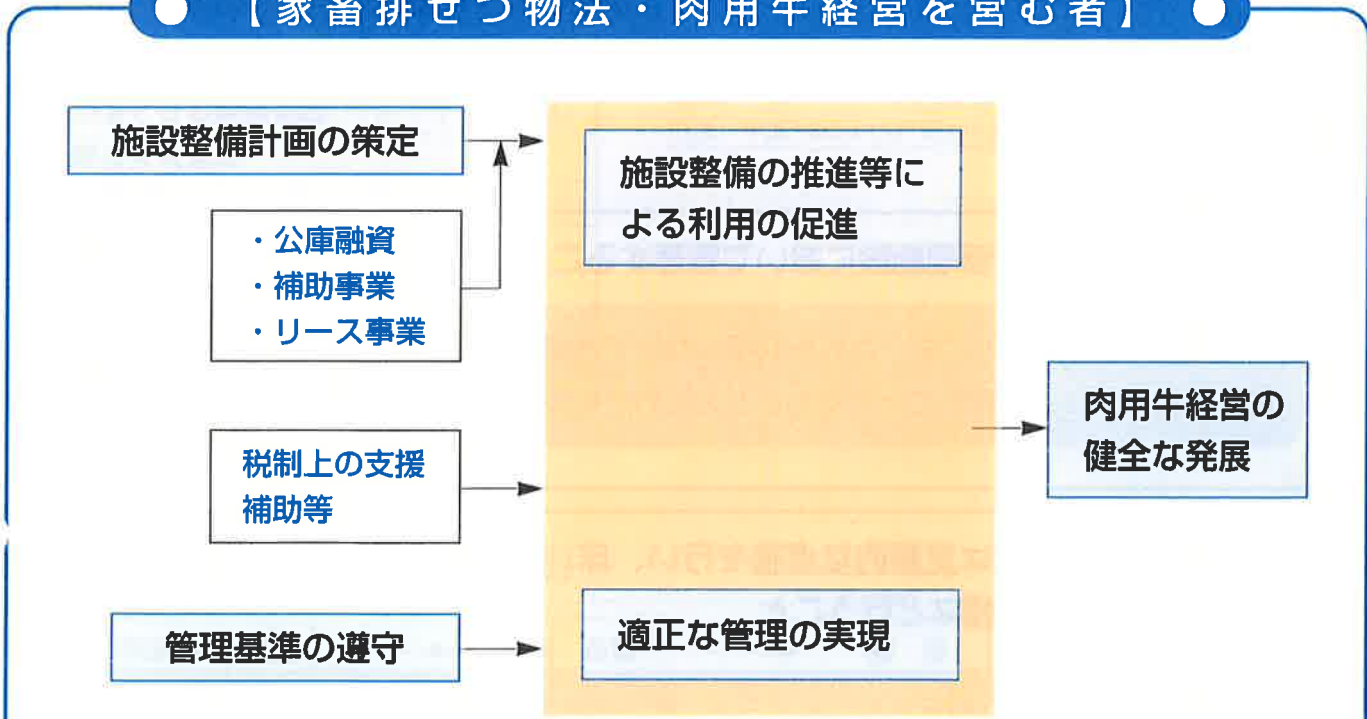
肉用牛の排せつ物はこれまで圃場に散布し、土づくりや飼料作物の生産に有効に利用されてきました。

しかし、最近の肉用牛経営において、混住化や高齢化に伴い戸数が減少し、一方では規模拡大が進み、排せつ物の有効な資源としての利用が難しくなって、対応できずに「野積み」の発生も一部に見られます。

なお、「家畜排せつ物法」(家畜排せつ物の適正化及び利用の促進に関する法律)では、家畜ふん尿の野積み等が規制され、猶予期間の平成16年10月31日までに、肉用牛のふんは堆肥とし、取り扱い性の高い有機物資材として活用することが求められています。

「家畜排せつ物法」の考え方は、ふん尿処理を適正に行なうことにより、肉用牛経営の健全な発展を図ることを基本としています。

● 【家畜排せつ物法・肉用牛経営を営む者】 ●



▲ 簡易堆肥舎 (自家施工)



▲ 通気型堆肥舎

【家畜排せつ物の概要】

【施設面の管理基準】 ————— 排せつ物を処理したり 保管したりする施設

- ① 固形状の家畜排せつ物の管理について、床を不浸透性材料（コンクリート等汚水が浸透しないものをいいます）で築造し、適当な覆い及び側壁を設けること

ふんや尿を敷料等で吸着させ固形状になったものを管理するための施設としては、堆肥舎や乾燥施設が一般的です。

この基準は、このような施設から廃汁が流出したりすることがないように、床をコンクリート張りとしたり、防水シートを敷いたりする必要があることを示したものです。

なお、必ずしも屋根をつけることを義務づけるものではなく、例えば、防水シートを下に敷き、上から防水シートで覆うなどの簡易な方法でも結構です。

【管理面の基準】

- ① 家畜排せつ物は管理施設において管理すること

堆肥舎等が整備されても、これを利用しないで野積み等をしては意味がないので、堆肥舎等できちんと管理していただくことを定めたものです。

- ② 堆肥化处理施設は定期的な点検を行い、床、覆い、側壁または槽が破損した場合、遅延なく修繕など行うこと

施設について、ひび割れがないかどうか、覆いが破れていないかどうかを点検します。ひび割れ等が確認された場合は速やかに修繕していただくことを定めています。

- ③ 送風機等を設置している場合、当該装置の維持管理を適切に行うこと

送風装置（ブローア）、攪拌装置等の装置について、注油、掃除等の維持管理を適切に行なっていただき、排せつ物の処理に支障がないようにすることを定めています。

④ 肉用牛の排せつ物の発生量、処理の方法及び処理方法別の数量について記録すること

生産者みずから家畜排せつ物の年間の発生量、利用量などを記録することで、現状の処理能力を把握し、将来の肉用牛経営に反映していただく上で必要になります。

なお、家畜排せつ物の発生量等の記録は平成14年11月1日より適用されています。

【管理基準の遵守】

管理基準に関しては、具体的には牛の頭数は10頭未満です。

なお、小規模な肉用牛農家であっても、排せつ物を適正に管理し環境問題（野積み）の発生を防止することが重要になります。

■ 肉用牛の構造設計基準と管理の方法基準

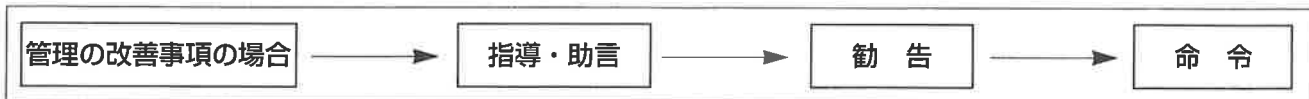
畜種		牛
対象となる飼養規模		10頭以上
構造設備基準		◎
管理の方法基準	施設管理	◎
	定期点検	○
	修繕	○
	維持管理	○
	記録	●

注：○は、平成11年11月1日から適用

●は、平成14年11月1日から適用

◎は、平成16年11月1日から適用

【管理基準に違反した場合の罰則】



管理の改善が必要な場合は、下記の手順をとることになるようです。

まず指導・助言が行われます。

上記に対して改善が見られない場合に、勧告が行われます。それでも改善が図られない場合に、命令を行うことができる形になっています。また、猶予期間経過後も、いきなり罰則ではありません。なお、命令に違反した場合には、50万円以下の罰金に処せられます。虚偽の報告や立入検査拒否等をした場合には、20万円以下の罰金に処せられます。

【税制上の支援措置】

肉用牛経営を営む者が新たに堆肥舎施設等を整備する場合に適用されます。

固定資産税の軽減

家畜排せつ物のたい肥化施設等（汚水の浄化処理施設を除く）に対する固定資産税の特例として平成16年3月31日までに取得された施設について5年間課税標準が1/2に軽減されます。

固定資産税の特例を受けるためには、管理基準に適合した施設では、牛については50㎡以上で、

発酵施設

- ① 攪拌装置若しくは送風機があるもの又は屋根及び側壁（高さ0.6 m以上）があるもの。
- ② 攪拌装置若しくは送風機があるもの又は火力装置があるもの又は天日により乾燥を行うもの。

上記の①または②の条件を満たしている旨の農林水産大臣の証明が必要になります。

手続きは、取得した翌年の1月2日～31日までに市町村に申告する必要があります。

【施設整備に対する補助金及び融資に関する支援措置】

国庫又は県単独の各種補助事業やリース事業、農業近代化資金や農林漁業金融公庫資金等の低利融資もあります。

共同で設置	<p>補助事業</p> <p>堆肥舎施設等の整備</p> <p>国または県 1/2～1/3補助</p>
個別経営で設置	<p>リース事業</p> <p>堆肥舎施設等の整備</p> <p>（財）畜産環境整備機構 1/2補助</p>
融資制度	<ul style="list-style-type: none"> ① 農業改良資金 ……………無利子 ② 新サンシャイン資金 ……………無利子 ③ 農業近代化資金 ……………0.9% ④ 農林漁業金融公庫資金 ……………0.9% <p style="text-align: right;">（4月現在金利）</p>